授業科目　ダンス教材論

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	スポ
中島　由梨	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○

【概要・一般目標：GIO】

学校体育における「表現運動」領域の授業内容を組み立てるにあたって必要な学習内容を、自ら（学生）が学習者として体験することを目的とする。

【学習目標・行動目標：SBO】

１、学校体育において「表現運動」領域内で必要となっている「種目」「学習内容」について、その全体像を理解する
２、教育現場で行われている教材例を実体験する
３、取り上げられやすい教材例とその目的や意義について理解する

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	オリエンテーション		授業の進め方と評価規準、担当：中島　由梨
	学校体育におけるダンス領域の位置づけと概要		小学校から高校までのつながりを意識して、担当：中島　由梨
	導入方法２		体ほぐしと円形コミュニケーション、コミュニケーションダンス、担当：中島　由梨
	導入方法３		指導者先導型、自由即興、定型の踊り、担当：中島　由梨
	現代的なリズムのダンス１		サンバのリズムでダンス体験、担当：中島　由梨
	現代的なリズムのダンス２		HIPHOP のリズムでダンス体験、担当：中島　由梨
	現代的なリズムのダンス３		一連のムーブメントでダンス体験、担当：中島　由梨
	表現１　二人組での表現		教材「戦い」、「追いつ追われつ」、担当：中島　由梨
	表現２　リズムの変化を活用した表現		「間」と「スローモーション」と「三倍速」を活用して、担当：中島　由梨
	表現３　教材「ものを使った表現」		身体表現のための「新聞紙」「ゴム」「わりばし」を使って、担当：中島　由梨
	表現４　教材「ものを使った表現」		演出効果としての「椅子」「紙」を使って、担当：中島　由梨
	表現５		構成の変化、場のくずしを活用した指導方法、担当：中島　由梨
	フォークダンス		世界の踊り１、担当：中島　由梨
	フォークダンス		世界の踊り２、担当：中島　由梨
	筆記試験（小論文）		担当：中島　由梨

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	表現・創作ダンス	村田芳子	岩崎書店	2012
	表現運動・リズムダンスの最新指導法	村田芳子	小学館	2012
	明日からトライ！ダンスの授業	全国ダンス・表現運動授業研究会	大修館書店	2011
その他の資料				

【評価方法】

出席 60 パーセント、レポート 20 パーセント、授業態度 10 パーセント、によって評価する。

【履修上の留意点】

のちに指導法実習につながる内容を考慮して授業内容を組んでいるため、「舞踊指導法実習」「ダンス領域指導実習」を組み合わせて取ることが望ましい。